

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 見附わくわくフレンズ		
○保護者評価実施期間	令和6年 8月 17日		～ 令和6年 9月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 23名
○従業者評価実施期間	令和6年 8月 17日		～ 令和6年 8月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 9月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラミング療育や個別療育の充実について	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方との面談の際に、この半年(～1年)で行ってほしい個別療育に優先順位をつけてもらっています。 ・プログラミング療育に関しては、事業主体のシステム開発会社の方が教えてくれているので、将来にも活用できるような療育内容を考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング検定の会場に認定されたため、今後少しずつ興味を持って取り組む人が増え、「やった」「できた」の経験ができるように支援していきます。
2	保護者、兄弟姉妹も参加できるイベント開催	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭りやクリスマス会など、利用者と併せ家族も参加できるような行事を開催しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今は、1年に最多でも2回の開催です。 ・今後は、内容を充実させたり開催回数を増やしたりするよう取り組みます。
3	長期休みの活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休みに入る2か月前から活動の検討を行い、初めて行く場所は下見も必ず行うようにしています。 ・活動が偏らないように、「なるべく普段できない経験ができるように」を考えて計画するようにしています。 ・活動の1か月前には保護者の方へお知らせのお便りを配布するようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外に出る活動と併せ、わくわくフレンズ施設内でできる活動をさらに充実させたいと考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設の広さやバリアフリー化について	<ul style="list-style-type: none"> ・個室が多い分、走ったりするスペースが少ないです。 ・小部屋の部分があり死角となることがあります。 ・バリアフリー化は多額の費用が必要となってしまいます。 ・駐車場の砂利でケガをする人がいました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の配置を検討し、連携して全体を見れるような体制を考えます。 ・駐車場の砂利の撤去又は入替を考えます。
2	地域との関わりや学童などのかかわりについて	<ul style="list-style-type: none"> ・小集団での活動や個別療育をメインに行っていたため、従来は関わる機会を考慮していませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流をする機会を設定できるように、今後の会議等で検討していきます。 ・外活動で施設外に出た時に、買い物先などの場所で外部の人との関わりが持てるように考えていきます。
3			